



(I) 個人としての尊重

イマヌエル・カント ■ドイツ(1724-1804)

主著『純粹理性批判』
『実践理性批判』
『永遠平和のために』



規則による強制は個人の尊重を阻害する。一方で、規則が無い社会も各々が自由に動きすぎて逆に不自由が生じる。人間が尊重され自由に生きていくためには、適度な規則が必要ということが分かるが、この問題を論じた哲学者がドイツの哲学者カントである。今日はカントの思想について深掘りしていきます。

■ カントが求めた生き方

道徳的な命令に従って生きることを求める

- [○¹] : 無条件に「～せよ」という命令
- [×²] : 「XしたいならYせよ」という条件付きの命令

前者が真の道徳法則であり、これに従うことで³]した人間になれると説いた。
→理性が命じる道徳法則に従って、自律的に行動できる人間を⁴]と呼んだ。

■ J.S.ミルが求めた生き方

J.S.ミルはイギリスの哲学者で⁵]を提唱した人物。

カントとは反する考え方で、何が幸福で何が正しいかの判断を強いることは、本人から個性や自由を奪うため、本人にも社会全体にも利益にならないと考えた。



[⁶]…他者への危害が無い限り、どんな愚かな行動であってもそれに干渉すべきでないという考え方
つまり、その行為の結果を重視する考え方であり、その判断を個人でしっかりすればよいというもの。

しかし、判断力がない人間は他人任せになり、互いを手段として利用するようになる。これが行き過ぎた社会は人間を個人として尊重しない社会となってしまう。彼らの主張は個性を尊重し合うことへの再考を促している。

+ α 教科書には載っていない「人間の尊厳」のために戦った偉人たち

- [⁷](1875~1965) フランスの医師、哲学者。WW2 終了後、反戦運動に尽力しノーベル平和賞受賞。
生命あるものの神聖さが倫理の基本であり、「生命あるものすべてに価値があるのだ。」という言葉を残した。
 - [⁸](1910~1997) 修道女としてインドに赴き、愛と奉仕の活動に尽力。ノーベル平和賞受賞。
最も貧しい人のために働く組織を設立し、インド国外にも活動の幅を広げる。死後カトリック最高の崇敬対象に認定。
 - [⁹](1869~1948) インドの独立運動指導者。1947年にイギリスからの独立を勝ち取ったものの、翌年凶弾に倒れる。非暴力・不服従・不殺生の考え方は、後の独立運動にも大きな影響を与えた。
- (例) [¹⁰] : 南アフリカ共和国、黒人解放運動の指導者。アパルトヘイトの撤廃に尽力。
[¹¹] : アメリカ公民権運動の指導者。黒人差別の撤廃に尽力。

(II) 社会的な空間

Work👉 「公共」って何？

Q 「公共」ってどんな意味？という問いに対して、小学生でもわかるように説明してください。

自分の意見

他者の意見

・
・

「公共」が持つ意味合い

① [] に関わること ② [] に関わること ③誰に対しても [] こと

■ 公共空間とは

身近な人の意見ばかりを気にしすぎて周りに合わせる生き方は、自分の個性を失い、視野が狭い人間になることに繋がる。その結果、より広い社会(公共空間)への関心を失い、自らで考える力が削がれてしまう恐れもある。私たちがネットのデマやフェイクニュースに騙されるのもその一例である。

ネットニュース、SNS、検索サービスなどには、その人が欲しがりそうな情報を分析し同じような情報を表示する**アルゴリズム**と呼ばれる機能がある。TikTok や Instagram の検索、YouTube のおすすめなど…心当たりは無いかな？これにより偏った情報に囲まれると、これが世の中の常識と錯覚し誤解する**フィルターバブル**という現象に陥る。自分が心地よい情報ばかりが流れ込み、極端に視野が狭くなった頭では…真偽を見抜ける力は無くなってしまう。



[¹²]: ドイツ生まれのユダヤ系哲学者

・ [¹³]…言葉や行為を通して、互いの違いを表現し合い、新たなできごとを实践すること→複数の見方を学びながら、表現しあうことによる刺激が新たな活動を誘発し、人間の存在に意味を与えて、歴史を生み出すと考えた。

👤 [¹⁴]: ドイツの哲学者・社会学者

公共空間を作るため、望ましい理性の在り方を探究→ [¹⁵]: 互いによりよく了解し合う力
→この力を主体的に発揮すれば、利害や価値観の異なる人とでも、合意形成を協働して探し続けることができる。
= [¹⁶] (熟議民主主義)

👤 [¹⁷]: 日本の倫理学者 主著『倫理学』 [¹⁸]

倫理とは？

日本人の精神… [¹⁹] (家族や共同体)を気遣いながら生きている

×規則によって縛ることで生まれた「倫理」は硬直しやすい

○自分の共同体をよりよくするために動き、人間関係の中で絶えず壊し創造し続ける「倫理」が理想





(I) 個人としての尊重

イマヌエル・カント

■ ドイツ(1724-1804)

主著『純粋理性批判』
『実践理性批判』
『永遠平和のために』



規則による強制は個人の尊重を阻害する。一方で、規則が無い社会も各々が自由に動きすぎて逆に不自由が生じる。人間が尊重され自由に生きていくためには、適度な規則が必要ということが分かるが、この問題を論じた哲学者がドイツの哲学者カントである。今日はカントの思想について深掘りしていきます。

■ カントが求めた生き方

道徳的な命令に従って生きることを求める

- ^[1] **定言命法**]: 無条件に「～せよ」という命令
- ×^[2] **仮言命法**]: 「XしたいならYせよ」という条件付きの命令

前者が真の道徳法則であり、これに従うことで^[3] **自律**]した人間になれると説いた。
→理性が命じる道徳法則に従って、自律的に行動できる人間を^[4] **人格**]と呼んだ。

■ J.S.ミルが求めた生き方

J.S.ミルはイギリスの哲学者で^[5] **功利主義**]を提唱した人物。 **ベンサムも同じ**

カントとは反する考え方で、何が幸福で何が正しいかの判断を強いることは、本人から個性や自由を奪うため、本人にも社会全体にも利益にならないと考えた。



^[6] **(他者)危害原理**]…他者への危害が無い限り、どんな愚かな行動であってもそれに干渉すべきでないという考え方
つまり、その行為の結果を重視する考え方であり、その判断を個人でしっかりすればよいというもの。

しかし、判断力がない人間は他人任せになり、互いを手段として利用するようになる。これが行き過ぎた社会は人間を個人として尊重しない社会となってしまう。彼らの主張は個性を尊重し合うことへの再考を促している。

+ α 教科書には載っていない「人間の尊厳」のために戦った偉人たち

- ^[7] **シュバイツァー**](1875~1965) フランスの医師、哲学者。WW2 終了後、反戦運動に尽力しノーベル平和賞受賞。
生命あるものの神聖さが倫理の基本であり、「生命あるものすべてに価値があるのだ。」という言葉を残した。
 - ^[8] **マザー・テレサ**](1910~1997) 修道女としてインドに赴き、**愛と奉仕**の活動に尽力。ノーベル平和賞受賞。
最も貧しい人のために働く組織を設立し、インド国外にも活動の幅を広げる。死後カトリック最高の崇敬対象に認定。
 - ^[9] **ガンディー**](1869~1948) インドの独立運動指導者。1947年にイギリスからの独立を勝ち取ったものの、翌年凶弾に倒れる。**非暴力・不服従・不殺生**の考え方は、後の独立運動にも大きな影響を与えた。
- (例) ^[10] **マンデラ**]: 南アフリカ共和国、黒人解放運動の指導者。アパルトヘイトの撤廃に尽力。
^[11] **キング牧師**]: アメリカ公民権運動の指導者。黒人差別の撤廃に尽力。

(II) 社会的な空間

Work👉 「公共」って何？

Q 「公共」ってどんな意味？という問いに対して、小学生でもわかるように説明してください。

自分の意見

他者の意見

・
・

「公共」が持つ意味合い

① [**国や政府**] に関わること ② [**みんな**] に関わること ③誰に対しても [**開かれている**] こと

■ 公共空間とは

身近な人の意見ばかりを気にしすぎて周りに合わせる生き方は、自分の個性を失い、視野が狭い人間になることに繋がる。その結果、より広い社会(公共空間)への関心を失い、自らで考える力が削がれてしまう恐れもある。私たちがネットのデマやフェイクニュースに騙されるのもその一例である。

ネットニュース、SNS、検索サービスなどには、その人が欲しがりそうな情報を分析し同じような情報を表示する**アルゴリズム**と呼ばれる機能がある。TikTok や Instagram の検索、YouTube のおすすめなど…心当たりは無いかな？これにより偏った情報に囲まれると、これが世の中の常識と錯覚し誤解する**フィルターバブル**という現象に陥る。自分が心地よい情報ばかりが流れ込み、極端に視野が狭くなった頭では…真偽を見抜ける力は無くなってしまう。



[¹² **アーレント**]: ドイツ生まれのユダヤ系哲学者

- ・ [¹³ **活動**]…言葉や行為を通して、互いの違いを表現し合い、新たなできごとを実践すること
→複数の見方を学びながら、表現しあうことによる刺激が新たな活動を誘発し、人間の存在に意味を与えて、歴史を生み出すと考えた。

👤 [¹⁴ **ハーバーマス**]: ドイツの哲学者・社会学者

公共空間を作るため、望ましい理性の在り方を探究→ [¹⁵ **コミュニケーション的理性**]: 互いによりよく了解し合う力
→この力を主体的に発揮すれば、利害や価値観の異なる人とでも、合意形成を協働して探し続けることができる。
= [¹⁶ **討議デモクラシー**](熟議民主主義)

👤 [¹⁷ **和辻哲郎**]: 日本の倫理学者 主著『倫理学』 [¹⁸ **風土**]

倫理とは？ **人として守り行うべき道筋**

日本人の精神… [¹⁹ **間柄**](家族や共同体)を気遣いながら生きている

×規則によって縛ることで生まれた「倫理」は硬直しやすい

○自分の共同体をよりよくするために動き、人間関係の中で絶えず壊し創造し続ける「倫理」が理想

